

# ○国土利用計画（全国計画）改定のポイント（案）

## <背景>

○**経済社会情勢の変化**

- ・人口減少社会の到来
- ・多選択社会
- ・市街地の形成圧力の低下
- ・一定の土地利用転換が発生

○**国土利用状況の諸課題**

- ・国土利用の質的問題
- ・消費資源の安定確保の問題
- ・地球温暖化の影響
- ・国土の管理水準の低下

↓

**人口減少等による国土のゆとりを好機ととらえ、  
多様化・複雑化する課題に対応すべく、  
従来の旺盛な土地利用転換に伴う国土利用・調整から、  
「持続可能な国土管理」の考え方による能動的展開へ転換**

## <新計画におけるポイント>

**(ポイント1)**  
従来の国土利用の量的調整と質的向上をさらに総合的に展開し、  
次世代へ引き継ぐ「持続可能な国土管理」へ

- (従 来)・土地利用転換圧力 → 量的調整
- ・地目毎の低未利用地→質的向上の努力
- (改定後)・自然が残された土地の開発抑制
- ・開発後に低未利用になった土地の再利用・再開発
  - ・低未利用地を活用した自然環境の再生
  - ・集約型都市構造への転換
- 量的調整・質的向上を総合的に展開

**(ポイント2)**  
「安全・安心」「循環・共生」「美(うるわ)しさ」の3つの観点から、  
横断的・総合的・双方向的な「持続可能な国土管理」を展開

- (従 来)・地目毎の質的向上の努力
- (改定後)・災害リスクを考慮した国土利用
- ・エコロジカルネットワーク、ランドスケープ 等
- 地目横断的、総合的・双方向的に国土管理を展開